

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田市民公園①		No.	75	担当部署名	建設部都市計画課	
大分類	11公園				ブロック	中央	
小分類	その他				地区	大田	
個別施設計画(長寿命化計画)の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画)マニュアル・ガイドラインの名称	公園施設長寿命化計画策定指針				
有	計画名	大田市都市公園施設長寿命化計画		計画期間	2024年度～2033年度	改定・見直し時期	2028年度
無	策定期限		今後の策定予定の有無	策定しない場合理由			

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる施設評価チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模建替え	担当課方針	関係者調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を選択した理由	【プール・テニスコート・弓道場・ちびっこ広場等】 将来的に施設の更新や建替えの際には、必要な機能を維持した上で、規模縮小が可能なものは縮小する必要があると考えている。また、適正化計画上野外音楽堂は廃止予定となっているが、利用者数の増加が続いているため、残す方向で検討している。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)				第3期(2028～2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
	関連計画に基づく維持管理								
評価が達成される年度		2028年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	プール濾過循環配管漏水修繕、球場グラウンド整備（H29年度） 弓道場ブロック塀改修（R3年度）等		今後も適切な維持管理を行っていき、建て替え等が必要な時期までに、必要な機能とバランスを図りつつ、ニーズを踏まえて、規模縮小、廃止の時期等の検討を進める予定である。野外音楽堂については、2023年度の長寿命化計画の見直しに併せて、方向性等を改めた。また、栄町高禅寺線出入口の整備について検討していく必要がある。
第2期	2024年度	維持管理のための必要な軽微修繕	目標・取組を達成 公園施設長寿命化計画に基づく施設の維持管理を実施した。
	2025年度	維持管理のための必要な軽微修繕 野球場エアレーション、内野整備 弓道場改修設計	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和50年
建物延面積	499.14 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	旧耐震(基準未滿)
Is値	0.32
摘要欄	複数の施設あり

関連条例等	大田市都市公園条例
設置(目的等)	この条例は、都市公園法（昭和31年法律第79号。以下「法」という。）及び法に基づく命令に定めるもののほか、都市公園の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	公園内にある野外音楽堂は廃止を原則とする。

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料	11,106,200円		指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	36,981円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		11,143,181円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-11,143,181円	市民一人あたり税金充当額	-357円/人
	延床面積あたり税金充当額		-22,325円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-30,529円/日

(3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	27,098	32,237	31,891	25,119	24,956	28,260	88%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田市民公園②		No.	76	担当部署名	建設部都市計画課	
大分類	11公園				ブロック	中央	
小分類	その他				地区	大田	
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称	公園施設長寿命化計画策定指針				
有	計画名	大田市都市公園施設長寿命化計画		計画期間	2024年度～2033年度	改定・見直し 時期	2028年度
無	策定期限		今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	【代官山動物園等】 大田市唯一の動物園として長年大田市民に親しまれてきた。しかしながら建設から50年以上経過し、施設も老朽化しており、近い将来建て替えが必要である。今後も市民の憩いの場として利用が見込まれるものの、建て替え等の際には、施設数を縮小するなど施設規模を見直す必要があると考えている。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)				第3期 (2028～2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
	関連計画に基づく維持管理								
評価が達成される年度		2028年度				←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	指定管理による動物舎、管理事務所等の修繕（毎年度） ・ヤギ小屋修繕（H30年度）、ブタ小屋柵修繕（H29年度）、鶏小屋鉄骨修繕（H28年度）ウサギ小屋改修（R2年度）動物舎撤去1棟（R4年度）		今後も適切な維持管理を行いながら、施設の方向性について必要な機能とバランスを図りつつ、ニーズを踏まえて検討を進める。
第2期	2024年度 ヤギ小屋水路改修 維持管理のための必要な軽微修繕	目標・取組を達成	関係法令適合のための工事を実施した。 公園施設長寿命化計画に基づく施設の維持管理。
	2025年度 維持管理のための必要な軽微修繕		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 32 年
建物延面積	435.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(基準未満)
Is値	0.32
摘要欄	

関連条例等	大田市都市公園条例
設置(目的等)	この条例は、都市公園法（昭和31年法律第79号。以下「法」という。）及び法に基づく命令に定めるもののほか、都市公園の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	公園管理棟をはじめ、東屋、畜舎などは、必要最小限の建替えを行う。

【施設写真】



(2)収入・支出

		内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
収入	①使用料金収入				施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金				国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他				使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計				※グレーのセルは自動計算されます。	
		内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
支出	①指定管理料		6,257,000円		指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用				施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他		1,768円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			6,258,768円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			-6,258,768円	市民一人あたり税金充当額	-201円/人
	延床面積あたり税金充当額			-14,388円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-17,147円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	大田総合体育館		No.	77	担当部署名	建設部都市計画課		
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設							
小分類	屋内スポーツ施設							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		公園施設長寿命化計画策定指針				
	有	計画名	大田市都市公園施設長寿命化計画		計画期間	2024年度～2033年度	改定・見直し 時期	2028年度
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	広域圏施設として今後も維持していきたい。2018、2019年度にはアリーナの耐震化を行い、施設の長寿命化を図った。なお、施設の更新（建て替え）にあたっては、同規模以上、且つ機能の充実が必要だと考えている。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)				第3期 (2028～2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自	関連計画に基づく維持管理								
評価が達成される年度		2028 年度				←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	総合体育館改修設計（H29年度）耐震改修（H30,R1年度） 非常用発電機更新（H29年度） 空調設備改修（R2年度）		2018年11月～2019年6月の耐震改修工事により当面は建替えの必要がないため、工事完了の2019年度で評価達成とする。当面は長寿命化計画に基づき、適切な維持管理を行っていく予定である。
第2期	2024年度	維持管理のための必要な軽微修繕	目標・取組を達成 公園施設長寿命化計画に基づく施設の維持管理
	2025年度	パラペット改修 維持管理のための必要な軽微修繕	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 57 年
建物延面積	4,551.32 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(耐震済)
Is値	0.32 (競技棟)
摘要欄	一部急傾斜地の崩壊警戒区域内、特別警戒区域内に立地 管理棟は耐震有り (Is値1.04)

関連条例等	大田市都市公園条例
設置(目的等)	この条例は、都市公園法（昭和31年法律第79号。以下「法」という。）及び法に基づく命令に定めるもののほか、都市公園の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料	23,311,400円		指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	315,593円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計	23,626,993円		※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-23,626,993円	市民一人あたり税金充当額	-758円/人
	延床面積あたり税金充当額		-5,191円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-64,731円/日

(3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	23,390	29,121	30,723	36,790	30,089	30,022	100%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	榊島公園		No.	78	担当部署名	建設部都市計画課		
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設							
小分類	野外スポーツ施設							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		公園施設長寿命化計画策定指針				
	有	計画名	大田市都市公園施設長寿命化計画		計画期間	2024年度～2033年度	改定・見直し 時期	2028年度
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	①廃止	処理完了
『該当する』を 選択した理由	屋外トイレは建設から37年が経過しており老朽化も進んでいるため利用停止している。利用停止に併せ廃止を周知しており廃止を予定している。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)				第3期 (2028～2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
	関連計画に基づく維持管理								
評価が達成される年度		2028年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の維持管理（毎年度）		屋外トイレは老朽化が進行しているため利用停止とし、廃止を予定している。
第2期	2024年度	施設の維持管理 目標・取組を達成	施設の維持管理
	2025年度	解体工事に向けた庁内協議 施設の維持管理	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 54 年
建物延面積	118.12 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
Is値	0.88
摘要欄	

関連条例等	大田市都市公園条例
設置(目的等)	この条例は、都市公園法（昭和31年法律第79号。以下「法」という。）及び法に基づく命令に定めるもののほか、都市公園の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】

※写真無し

(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	29,462円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		29,462円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	58,790円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		58,790円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-29,328円	市民一人あたり税金充当額	-1円/人
	延床面積あたり税金充当額		-248円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-80円/日

(3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	100	331	2,508	2,554	3,550	1,808	196%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	温泉津総合体育館		No.	79	担当部署名	建設部都市計画課		
大分類	03スポーツ・レクリエーション系施設							
小分類	屋内スポーツ施設							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		公園施設長寿命化計画策定指針				
	有	計画名	大田市都市公園施設長寿命化計画		計画期間	2024年度～2033年度	改定・見直し 時期	2028年度
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	本施設は耐震上の問題はなく、当面の使用に耐える施設である。また、安定した利用があり、避難所にも指定されているため、当面は使用していく予定である。ただし、他用途との複合化なども今後は検討していく必要があると考えている。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)				第3期 (2028～2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自	関連計画に基づく維持管理								
評価が達成される年度		2028年度				←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の維持管理（毎年度） 非常用放送設備更新（R1年度） 自動火災報知設備・2階非常口扉修繕、消火栓ホース交換（R2年度）		老朽化が進行しているが、耐震上の問題もなく当面使用可能であり、今後も適切な維持管理を行っていく。長寿命化計画見直し時に当面の方向性を決定する予定。また、建て替え等が必要な時期までには、必要な機能とバランスを図りつつ、ニーズを踏まえた上で、対策を実施する。
第2期	2024年度 屋根改修設計 維持管理のための必要な軽微修繕	目標・取組を達成	公園施設長寿命化計画に基づく施設の維持管理
	2025年度 屋根改修工事 維持管理のための必要な軽微修繕		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 56 年
建物延面積	2,260.20 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
Is値	0.88
摘要欄	

関連条例等	大田市都市公園条例
設置(目的等)	この条例は、都市公園法（昭和31年法律第79号。以下「法」という。）及び法に基づく命令に定めるもののほか、都市公園の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	529,474円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		529,474円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	495,000円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	2,670,646円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		3,165,646円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-2,636,172円	市民一人あたり税金充当額	-85円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,166円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-7,222円/日

(3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	4,707	7,266	10,011	9,204	11,846	8,606	137%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	第2柳ヶ坪住宅		No.	80
大分類	10公営住宅			
小分類	公営住宅			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止	合意済
『該当する』を 選択した理由	昭和40年代に建設された施設であり、既に公営住宅法上の耐用年数を経過し老朽化が進んでおり、大田市営住宅長寿命化計画において用途廃止としている。入居者の意向や負担を十分に考慮し、移転を進める。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
	入居者移転								
	入居者の移転先確保								
	アスベスト調査								
評価が達成される年度		2030 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	退去のあった住宅を政策空家とし、募集を停止（H21～） 第2期大田市住生活基本計画(R2) 第2期大田市営住宅長寿命化計画（R3）		用途廃止の方針により、近隣の公営住宅の空き部屋への斡旋または民間賃貸住宅の活用を図り、入居者移転を進めていく。
第2期	2024年度	入居者の意向をもとに、市営住宅の空き部屋、民間賃貸住宅への入居者移転を行う。	目標・取組を達成 用途廃止要綱、民間賃貸住宅借上要綱の整備を行った。 民間賃貸住宅へ2件移転。残る3件は他の市営住宅へ移転、退去予定
	2025年度	引き続き入居者の意向をもとに、市営住宅の空き部屋、民間賃貸住宅への入居者移転を行う。解体後の跡地利用について検討	目標未達成（取組中）
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 41 年
建物延面積	647.94 m ²
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	—
摘要欄	洪水浸水地域（0.5～3m）

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	この条例は、公営住宅法（昭和26年法律第193号。以下「法」という。）に基づく市営住宅及び共同施設の設置及び管理について、法及び地方自治法（昭和22年法律第67号）並びにこれらに基づく命令の定めるところによるほか、必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	策定済みの市営住宅等長寿命化計画において、2021年度末を目処に現入居者の転居完了後の廃止を予定。

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	130,100円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		130,100円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		130,100円	市民一人あたり税金充当額	4円/人
	延床面積あたり税金充当額		201円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	356円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営第2新諸友住宅		No.	81
大分類	10公営住宅			
小分類	公営住宅			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	立地上、大田町内へのアクセスがしやすく、今後の需要も見込まれる。また用途廃止の移転先としており、2019年度には、社会資本整備総合交付金の活用により、外壁改修工事を実施しており、今後も維持管理していく必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
	個別修繕								
	下水、給湯設備工事								
評価が達成される年度		2027年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	第2期大田市住生活基本計画(R2) 第2期大田市営住宅長寿命化計画 (R3)		市営住宅長寿命化計画に基づいて住宅管理戸数の見直しを図った。 社会資本整備総合交付金を活用し、外壁改修工事を行い、長寿命化を図った (R1)
第2期	2024年度 用途廃止による移転先として改修 個別修繕の実施	目標未達成 (取組中)	移転先として修繕を実施。R7に下水道接続・給湯設備設計、R8に工事を予定
	2025年度 用途廃止による移転先として改修 個別修繕の実施	目標未達成 (取組中)	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 53 年
建物延面積	554.70 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
Is値	1.04
摘要欄	

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	この条例は、公営住宅法（昭和26年法律第193号。以下「法」という。）に基づく市営住宅及び共同施設の設置及び管理について、法及び地方自治法（昭和22年法律第67号）並びにこれらに基づく命令の定めるところによるほか、必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ） 市営住宅長寿命化計画に基づく対応

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	1,082,400円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		1,082,400円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	1,018,600円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	2,136円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,020,736円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		61,664円	市民一人あたり税金充当額	2円/人
	延床面積あたり税金充当額		111円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	169円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営第3新諸友住宅		No.	82
大分類	10公営住宅			
小分類	公営住宅			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画	
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	西部
地区	長久

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	立地上、大田町内へのアクセスがしやすく、今後の需要も見込まれる。また用途廃止の移転先としており、2019年度には、社会資本整備総合交付金の活用により、外壁改修工事を実施しており、今後も維持管理していく必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自	個別修繕								
	下水・給湯設備設計・工事								
評価が達成される年度		2027年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	第2期大田市住生活基本計画(R2) 第2期大田市営住宅長寿命化計画 (R3)		市営住宅長寿命化計画に基づいて住宅管理戸数の見直しを図った。 社会資本整備総合交付金を活用し、外壁改修工事を行い、長寿命化を図った (R1)
第2期	2024年度 用途廃止による移転先として改修 個別修繕の実施	目標・取組を達成	移転先の修繕。R6に下水道接続・給湯設備設計、R7に工事を予定
	2025年度 用途廃止による移転先として改修 個別修繕の実施	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 54 年
建物延面積	554.70 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
Is値	1.04
摘要欄	

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	この条例は、公営住宅法（昭和26年法律第193号。以下「法」という。）に基づく市営住宅及び共同施設の設置及び管理について、法及び地方自治法（昭和22年法律第67号）並びにこれらに基づく命令の定めるところによるほか、必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ） 市営住宅長寿命化計画に基づく対応

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	1,262,800円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金	436,000円		国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		1,698,800円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	710,281円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		710,281円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		988,519円	市民一人あたり税金充当額	32円/人
	延床面積あたり税金充当額		1,782円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	2,708円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営長久住宅		No.	83
大分類	10公営住宅			
小分類	公営住宅			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画	
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由
			計画期間	2022年度～2031年度
			改定・見直し 時期	2026年度

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	西部
地区	長久

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	立地上、大田町内へのアクセスがしやすく、今後の需要も見込まれる。社会資本整備総合交付金の活用により、下水接続・給湯設備工事（2013年度）外壁改修工事（2021年度）を実施しており、今後も維持管理していく必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)				第3期 (2028～2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自	個別修繕								
評価が達成される年度		2027 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	第2期大田市住生活基本計画(R2) 第2期大田市営住宅長寿命化計画 (R3) 外壁改修工事 (R3)		市営住宅長寿命化計画に基づいて住宅管理戸数の見直しを図った。 社会資本整備総合交付金を活用し、外壁改修工事を行い、長寿命化を図った (R3)
第2期	2024年度	個別修繕の実施 個別修繕の実施	目標・取組を達成 防音壁撤去工事実施
	2025年度	個別修繕の実施	目標未達成 (取組中)
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 56 年
建物延面積	631.40 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
ls値	1.04
摘要欄	洪水浸水地域 (0.5m)

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	この条例は、公営住宅法(昭和26年法律第193号。以下「法」という。)に基づく市営住宅及び共同施設の設置及び管理について、法及び地方自治法(昭和22年法律第67号)並びにこれらに基づく命令の定めるところによるほか、必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ) 市営住宅長寿命化計画に基づく対応

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	2,089,800円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		2,089,800円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	2,902,420円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	5,194円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		2,907,614円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-817,814円	市民一人あたり税金充当額	-26円/人
	延床面積あたり税金充当額		-1,295円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-2,241円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営山崎住宅		No.	84
大分類	10公営住宅			
小分類	公営住宅			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画	
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	立地上、大田町内へのアクセスがしやすく、今後の需要も見込まれる。社会資本整備総合交付金の活用により、下水接続・給湯設備工事（2017年度）しており、今後も維持管理していく必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)				第3期 (2028～2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自	個別修繕								
評価が達成される年度		2027 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	第2期大田市住生活基本計画(R2) 第2期大田市営住宅長寿命化計画 (R3) 給湯設備、下水道工事 (H29)		市営住宅長寿命化計画に基づいて住宅管理戸数の見直しを図った。社会资本整備総合交付金を活用し、下水、給湯設備工事を行い、長寿命化を図った
第2期	2024年度	個別修繕 目標・取組を達成	設備の老朽化により計画的な修繕が必要。
	2025年度	個別修繕 目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 57 年
建物延面積	653.84 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
Is値	1.15
摘要欄	土石流警戒区域に立地

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	この条例は、公営住宅法（昭和26年法律第193号。以下「法」という。）に基づく市営住宅及び共同施設の設置及び管理について、法及び地方自治法（昭和22年法律第67号）並びにこれらに基づく命令の定めるところによるほか、必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ） 市営住宅長寿命化計画に基づく対応

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	1,632,900円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		1,632,900円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	265,760円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	533,775円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		799,535円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		833,365円	市民一人あたり税金充当額	27円/人
	延床面積あたり税金充当額		1,275円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	2,283円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営高禅寺住宅		No.	85
大分類	10公営住宅			
小分類	公営住宅			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	西部
地区	長久

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	立地上、大田町内へのアクセスがしやすく、今後の需要も見込まれる。社会資本整備総合交付金の活用により、外壁改修工事（2018年度）をしており、今後も維持管理していく必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)				第3期 (2028～2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自	個別修繕								
評価が達成される年度		2027 年度				←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	第2期大田市住生活基本計画(R2) 第2期大田市営住宅長寿命化計画 (R3)		市営住宅長寿命化計画に基づいて住宅管理戸数の見直しを図った。
第2期	2024年度 個別修繕の実施	目標・取組を達成	設備の老朽化により計画的な修繕が必要
	2025年度 個別修繕の実施	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 62 年
建物延面積	535.48 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	この条例は、公営住宅法（昭和26年法律第193号。以下「法」という。）に基づく市営住宅及び共同施設の設置及び管理について、法及び地方自治法（昭和22年法律第67号）並びにこれらに基づく命令の定めるところによるほか、必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ） 市営住宅長寿命化計画に基づく対応

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	2,116,800円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		2,116,800円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	147,400円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		147,400円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		1,969,400円	市民一人あたり税金充当額	63円/人
	延床面積あたり税金充当額		3,678円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	5,396円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営松山住宅		No.	86
大分類	10公営住宅			
小分類	公営住宅			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	温泉津町内における住宅困窮者向けの住宅として、今後も維持管理していく。2015年度に社会資本整備総合交付金を活用し、給湯設備、下水道接続を行っている。また、2022年度からは、第2期大田市営住宅長寿命化計画により、大規模改修(外壁改修)を行っており、2024年度で完了した。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自	個別修繕								
	外壁改修工事								
評価が達成される年度		2025 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	第2期大田市住生活基本計画(R2) 第2期大田市営住宅長寿命化計画 (R3) 外壁改修工事 (R4~R6)		市営住宅長寿命化計画に基づいて住宅管理戸数の見直しを図った。 R4~外壁改修工事を行い長寿命化を図った。
第2期	2024年度	社会資本整備総合交付金を活用し、外壁改修工事 (F.G棟) を行う。 目標・取組を達成	長寿命化計画どおり、改修工事を行い達成できた。
	2025年度	個別修繕 目標未達成 (取組中)	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 54 年
建物延面積	2,418.93 m ²
構造	木造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
Is値	1.04
摘要欄	

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	この条例は、公営住宅法(昭和26年法律第193号。以下「法」という。)に基づく市営住宅及び共同施設の設置及び管理について、法及び地方自治法(昭和22年法律第67号)並びにこれらに基づく命令の定めるところによるほか、必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ) 市営住宅長寿命化計画に基づく対応

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	5,818,300円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金	10,897,000円		国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		16,715,300円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	27,238,190円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	3,355円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		27,241,545円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-10,526,245円	市民一人あたり税金充当額	-338円/人
	延床面積あたり税金充当額		-4,352円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-28,839円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営松山住宅（集会所）		No.	87
大分類	01市民文化系施設			
小分類	集会所			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	③地域移管	調整中
『該当する』を 選択した理由	市営松山住宅入居者のため集会所として建設された。現在は地元自治会で管理しており、市による利用実績なし。地元自治会に譲渡することで施設の自由な利用が可能となり、地元のメリットにもなるため、地域移管を進める。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)				第3期 (2028～2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		2026 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	松山自治会長に将来的に集会所を自治会に移管する方向を説明。周辺管理について協議		集会所及び周辺について、自治会が高齢化しており、地元へ移管しても維持管理が困難となることが想定。
第2期	2024年度	地元説明会を実施	地元説明会を実施（R7.3） 譲渡については自治会内で協議するとのこと。
	2025年度	譲渡となれば、地元自治会で地縁団体の手続きをしてもらう。	目標未達成（取組中）
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 55 年
建物延面積	80.64 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
Is値	1.04
摘要欄	

関連条例等	大田市営住宅集会所管理要綱
設置(目的等)	集会所は、市営住宅入居者（以下「入居者」という。）の共同の福祉、厚生及び文化教養等の場として諸行事を行うために使用させるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営日ノ本住宅		No.	88
大分類	10公営住宅			
小分類	公営住宅			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画	計画期間
				2022年度～2031年度
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由
				改定・見直し 時期
				2026年度

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	仁摩
地区	天河内

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	仁摩町内の住宅困窮者向けの住宅として、今後も維持管理を行う。2020年度に社会資本整備総合交付金を活用し、外壁改修工事を行った。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022～2027年度)				第3期 (2028～2033年度)			
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自	個別修繕								
評価が達成される年度		2027 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	第2期大田市住生活基本計画(R2) 第2期大田市営住宅長寿命化計画 (R3) 外壁改修工事 (R2)		市営住宅長寿命化計画に基づいて住宅管理戸数の見直しを図った。 R2外壁改修工事を行い長寿命化を図った。
第2期	2024年度	個別修繕 目標・取組を達成	設備の老朽化により計画的な修繕が必要
	2025年度	個別修繕	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 54 年
建物延面積	729.18 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
ls値	1.03
摘要欄	

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	この条例は、公営住宅法（昭和26年法律第193号。以下「法」という。）に基づく市営住宅及び共同施設の設置及び管理について、法及び地方自治法（昭和22年法律第67号）並びにこれらに基づく命令の定めるところによるほか、必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ） 市営住宅長寿命化計画に基づく対応

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	1,942,900円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		1,942,900円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		1,942,900円	市民一人あたり税金充当額	62円/人
	延床面積あたり税金充当額		2,664円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	5,323円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	山崎公園		No.	89
大分類	11公園			
小分類	その他			
個別施設計画(長寿命化計画)の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画)マニュアル・ガイドラインの名称	公園施設長寿命化計画策定指針	
有	計画名	大田市都市公園施設長寿命化計画		計画期間
				2024年度～2033年度
無	策定期限		今後の策定予定の有無	策定しない場合理由

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる施設評価チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模建替え	担当課方針	関係者調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を選択した理由	本公園は、西部土地区画整理事業で作られた公園のひとつであり、建設から30年以上経過している。公園内のトイレについては、2023年度に廃止した。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)				第3期(2028～2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自	関連計画に基づく維持管理								
評価が達成される年度		2028年度				←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の維持管理（毎年度） トイレ解体に向けてのアスベスト調査（R4年度） トイレ解体（R5年度）		老朽化が進行する中、利用も少ない状況であり、公園施設廃止について検討を進める必要がある。
第2期	2024年度	目標・取組を達成	公園施設長寿命化計画に基づく施設の維持管理。
	2025年度		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 61 年
建物延面積	5.60 m ²
構造	コンクリートブロック造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	急傾斜地の崩壊警戒区域、特別警戒区域内に立地

関連条例等	大田市都市公園条例
設置(目的等)	この条例は、都市公園法（昭和31年法律第79号。以下「法」という。）及び法に基づく命令に定めるもののほか、都市公園の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



※R5年度にトイレ解体



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	110,429円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計	110,429円		※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-110,429円	市民一人あたり税金充当額	-4円/人
	延床面積あたり税金充当額		-19,719円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-303円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	長久公園（便所）		No.	90	担当部署名	建設部都市計画課		
大分類	11公園							
小分類	その他							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称	公園施設長寿命化計画策定指針					
	有	計画名	大田市都市公園施設長寿命化計画		計画期間	2024年度～2033年度	改定・見直し 時期	2028年度
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	西部
地区	長久

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止	処理完了
『該当する』を 選択した理由	公園のトイレについては老朽化も著しいため、廃止する。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)				第3期 (2028～2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自	関連計画に基づく維持管理								
評価が達成される年度		2024 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の維持管理（毎年度） トイレ臭突管修繕（R2年度）		今後も適切な維持管理を行っていき、建て替え等が必要な時期までに、必要な機能とバランスを図りつつ、ニーズを踏まえて、廃止の時期等の検討を進める。
第2期	2024年度 トイレ撤去 維持管理のための必要な軽微修繕	目標・取組を達成	トイレ撤去の実施
	2025年度 処理完了		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 61 年
建物延面積	1.57 m ²
構造	コンクリートブロック造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	洪水浸水地域（0.5m未満）

関連条例等	大田市都市公園条例
設置(目的等)	この条例は、都市公園法（昭和31年法律第79号。以下「法」という。）及び法に基づく命令に定めるもののほか、都市公園の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



※R6年度にトイレ解体

(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	605,000円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	74,548円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計	679,548円		※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-679,548円	市民一人あたり税金充当額	-22円/人
	延床面積あたり税金充当額		-432,833円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-1,862円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	石見銀山公園		No.	91
大分類	11公園			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称	公園施設長寿命化計画策定指針	
	有	計画名	大田市都市公園施設長寿命化計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	高山
地区	大森

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当する	該当する	該当しない	該当する	該当する	該当する	⑦必要規模建替え	調整中
『該当する』を 選択した理由	世界遺産の石見銀山遺跡にとって必要な公園であり、今後も維持していく必要がある。清水寺前トイレについては休憩所改修に併せ複合化し廃止とする。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
	関連計画に基づく維持管理								
評価が達成される年度		2028年度				←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	休憩所・展望台等改修（H26年度）トイレ浄化槽臭突管設置（H28年度） 木柵修繕、改修（H28,29年度）		今後も適切な維持管理を行いながら、施設の方向性について必要な機能とバランスを図りつつ、ニーズを踏まえて検討を進める。2023年度の長寿命化計画の見直しに併せて、特に老朽化が進んでいる施設の方向性を改めた。
第2期	2024年度	目標・取組を達成	長寿命化計画に基づく施設整備（複合化）を実施した 公園施設長寿命化計画に基づく施設の維持管理
	2025年度		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 61 年
建物延面積	446.06 m ²
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	土石流警戒区域、急傾斜地の崩壊警戒区域・特別警戒区域内に立地

関連条例等	大田市都市公園条例
設置(目的等)	この条例は、都市公園法（昭和31年法律第79号。以下「法」という。）及び法に基づく命令に定めるもののほか、都市公園の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金	20,000,000円		国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	20,000,000円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		40,000,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	57,345,200円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	4,051,675円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		61,396,875円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-21,396,875円	市民一人あたり税金充当額	-686円/人
	延床面積あたり税金充当額		-47,969円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-58,622円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	第3柳ヶ坪住宅		No.	92
大分類	10公営住宅			
小分類	公営住宅			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止	合意済
『該当する』を 選択した理由	昭和40年代に建設された施設であり、既に公営住宅法上の耐用年数を経過し老朽化が進んでおり、大田市営住宅長寿命化計画において用途廃止としている。入居者の意向や負担を十分に考慮し、移転を進める。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自	入居者移転								
	入居者の移転先確保								
	アスベスト調査								
評価が達成される年度		年度				←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	退去のあった住宅を政策空家とし、募集を停止（H21～） 第2期大田市住生活基本計画(R2) 第2期大田市営住宅長寿命化計画（R3）		用途廃止の方針により、近隣の公営住宅の空き部屋への斡旋または民間賃貸住宅の活用を図り、入居者移転を進めていく。
第2期	2024年度	入居者の意向をもとに、市営住宅の空き部屋、民間賃貸住宅への入居者移転を行う。	目標・取組を達成 用途廃止要綱、民間賃貸住宅借上要綱の整備を行った。 他の市営住宅へ1件移転。残る3件は他の市営住宅、施設へ移転予定
	2025年度	引き続き入居者の意向をもとに、市営住宅の空き部屋、民間賃貸住宅への入居者移転を行う。解体後の跡地利用について検討	目標未達成（取組中）
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 46 年
建物延面積	361.20 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
ls値	1.62
摘要欄	洪水浸水地域（0.5～3m）

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	この条例は、公営住宅法（昭和26年法律第193号。以下「法」という。）に基づく市営住宅及び共同施設の設置及び管理について、法及び地方自治法（昭和22年法律第67号）並びにこれらに基づく命令の定めるところによるほか、必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	策定済みの市営住宅等長寿命化計画において、2021年度末を目処に現入居者の転居完了後の廃止を予定。

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	126,200円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		126,200円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	114,950円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		114,950円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		11,250円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		31円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	31円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	第4柳ヶ坪住宅		No.	93
大分類	10公営住宅			
小分類	公営住宅			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止	開始前
『該当する』を 選択した理由	昭和40年代に建設された施設であり、既に公営住宅法上の耐用年数を経過し老朽化が進んでおり、大田市営住宅長寿命化計画において用途廃止としている。入居者の意向や負担を十分に考慮し、移転を進める。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自	入居者移転								
	入居者の移転先確保								
	アスベスト調査								
評価が達成される年度		年度				←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	退去のあった住宅を政策空家とし、募集を停止（H21～） 第2期大田市住生活基本計画(R2) 第2期大田市営住宅長寿命化計画（R3）		用途廃止の方針により、近隣の公営住宅の空き部屋への斡旋または民間賃貸住宅の活用を図り、入居者移転を進めていく。
第2期	2024年度	入居者の意向をもとに、市営住宅の空き部屋、民間賃貸住宅への入居者移転を行う。	目標・取組を達成 用途廃止要綱、民間賃貸住宅借上要綱の整備を行った。 他の市営住宅へ2件、施設入所1件移転。残る1件は他の市営住宅か民間賃貸住宅へ予定している。
	2025年度	引き続き入居者の意向をもとに、市営住宅の空き部屋、民間賃貸住宅への入居者移転を行う。解体後の跡地利用について検討	目標未達成（取組中）
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 47 年
建物延面積	361.20 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
ls値	1.62
摘要欄	洪水浸水地域（0.5～3m）

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	この条例は、公営住宅法（昭和26年法律第193号。以下「法」という。）に基づく市営住宅及び共同施設の設置及び管理について、法及び地方自治法（昭和22年法律第67号）並びにこれらに基づく命令の定めるところによるほか、必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	策定済みの市営住宅等長寿命化計画において、2021年度末を目処に現入居者の転居完了後の廃止を予定。

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	108,700円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		108,700円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	77,000円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		77,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		31,700円	市民一人あたり税金充当額	1円/人
	延床面積あたり税金充当額		88円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	87円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	沢田住宅		No.	94
大分類	10公営住宅			
小分類	公営住宅			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	東部
地区	久手

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止	合意済
『該当する』を 選択した理由	昭和47年度に建設された施設であり、既に公営住宅法上の耐用年数を経過し老朽化が進んでおり、大田市営住宅長寿命化計画において用途廃止としている。入居者の意向や負担を十分に考慮し、移転を進める。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自	入居者移転								
	入居者の移転先確保								
	アスベスト調査								
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	退去のあった住宅を政策空家とし、募集を停止（H21～） 第2期大田市住生活基本計画(R2) 第2期大田市営住宅長寿命化計画（R3）		用途廃止の方針により、近隣の公営住宅の空き部屋への斡旋または民間賃貸住宅の活用を図り、入居者移転を進めていく。
第2期	2024年度	入居者の意向をもとに、市営住宅の空き部屋、民間賃貸住宅への入居者移転を行う。	目標未達成（取組中） 用途廃止要綱、民間賃貸住宅借上要綱の整備を行った。
	2025年度	引き続き入居者の意向をもとに、市営住宅の空き部屋、民間賃貸住宅への入居者移転を行う。解体後の跡地利用について検討	目標未達成（取組中）
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 48 年
建物延面積	361.20 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
ls値	1.78
摘要欄	

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	この条例は、公営住宅法（昭和26年法律第193号。以下「法」という。）に基づく市営住宅及び共同施設の設置及び管理について、法及び地方自治法（昭和22年法律第67号）並びにこれらに基づく命令の定めるところによるほか、必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	策定済みの市営住宅等長寿命化計画において、2021年度末を目処に現入居者の転居完了後の廃止を予定。

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	381,600円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		381,600円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	5,500円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		5,500円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		376,100円	市民一人あたり税金充当額	12円/人
	延床面積あたり税金充当額		1,041円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	1,030円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	第2沢田住宅		No.	95
大分類	10公営住宅			
小分類	公営住宅			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	東部
地区	久手

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止	合意済
『該当する』を 選択した理由	昭和47年度に建設された施設であり、既に公営住宅法上の耐用年数を経過し老朽化が進んでおり、大田市営住宅長寿命化計画において用途廃止としている。入居者の意向や負担を十分に考慮し、移転を進める。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
	入居者移転								
	入居者の移転先確保								
	アスベスト調査								
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	退去のあった住宅を政策空家とし、募集を停止（H21～） 第2期大田市住生活基本計画(R2) 第2期大田市営住宅長寿命化計画（R3）		用途廃止の方針により、近隣の公営住宅の空き部屋への斡旋または民間賃貸住宅の活用を図り、入居者移転を進めていく。
第2期	2024年度	入居者の意向をもとに、市営住宅の空き部屋、民間賃貸住宅への入居者移転を行う。	目標未達成（取組中） 用途廃止要綱、民間賃貸住宅借上要綱の整備を行った。
	2025年度	引き続き入居者の意向をもとに、市営住宅の空き部屋、民間賃貸住宅への入居者移転を行う。解体後の跡地利用について検討	目標未達成（取組中）
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 49 年
建物延面積	379.85 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
Is値	1.75
摘要欄	

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	
適正化計画上の実施方針	策定済みの市営住宅等長寿命化計画において、2021年度末を目処に現入居者の転居完了後の廃止を予定。

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	152,400円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		152,400円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		152,400円	市民一人あたり税金充当額	5円/人
	延床面積あたり税金充当額		401円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	418円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	新諸友住宅		No.	96
大分類	10公営住宅			
小分類	公営住宅			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	東部
地区	久手

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止	合意済
『該当する』を 選択した理由	昭和48年度に建設された施設であり、既に公営住宅法上の耐用年数を経過し老朽化が進んでおり、大田市営住宅長寿命化計画において用途廃止としている。入居者の意向や負担を十分に考慮し、移転を進める。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
	入居者移転								
	入居者の移転先確保								
	アスベスト調査								
評価が達成される年度		2027年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	退去のあった住宅を政策空家とし、募集を停止（H21～） 第2期大田市住生活基本計画(R2) 第2期大田市営住宅長寿命化計画（R3）		用途廃止の方針により、近隣の公営住宅の空き部屋への斡旋または民間賃貸住宅の活用を図り、入居者移転を進めていく。
第2期	2024年度	入居者の意向をもとに、市営住宅の空き部屋、民間賃貸住宅への入居者移転を行う。	目標・取組を達成 用途廃止要綱、民間賃貸住宅借上要綱の整備を行った。 他の市営住宅へ2件の移転が完了した。入居者はいない。
	2025年度	解体に向け、アスベスト調査を行う。解体後の跡地利用について協議	目標未達成（取組中）
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 52 年
建物延面積	497.05 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
ls値	1.76
摘要欄	

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	この条例は、公営住宅法（昭和26年法律第193号。以下「法」という。）に基づく市営住宅及び共同施設の設置及び管理について、法及び地方自治法（昭和22年法律第67号）並びにこれらに基づく命令の定めるところによるほか、必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	策定済みの市営住宅等長寿命化計画において、2021年度末を目処に現入居者の転居完了後の廃止を予定。

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	94,300円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		94,300円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	3,630円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		3,630円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		90,670円	市民一人あたり税金充当額	3円/人
	延床面積あたり税金充当額		182円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	248円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営第4新諸友住宅		No.	97
大分類	10公営住宅			
小分類	公営住宅			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	西部
地区	長久

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	立地上、大田町内へのアクセスがしやすく、今後の需要も見込まれる。また用途廃止の移転先としており、2019年度には、社会資本整備総合交付金の活用により、外壁改修工事を実施しており、今後も維持管理していく必要がある。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
	個別修繕								
	下水・給湯設備設計・工事								
評価が達成される年度		2025 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	第2期大田市住生活基本計画(R2) 第2期大田市営住宅長寿命化計画 (R3)		市営住宅長寿命化計画に基づいて住宅管理戸数の見直しを図った。 社会資本整備総合交付金を活用し、外壁改修工事を行い、長寿命化を図った (R1)
第2期	2024年度 用途廃止による移転先として改修 個別修繕の実施	目標・取組を達成	移転先の修繕。R5に下水道接続・給湯設備設計、R6工事完了
	2025年度 個別修繕の実施	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 55 年
建物延面積	315.67 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	旧耐震(基準以上)
ls値	1.16
摘要欄	

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	この条例は、公営住宅法（昭和26年法律第193号。以下「法」という。）に基づく市営住宅及び共同施設の設置及び管理について、法及び地方自治法（昭和22年法律第67号）並びにこれらに基づく命令の定めるところによるほか、必要な事項を定めるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ） 市営住宅長寿命化計画に基づく対応

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	723,100円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金	5,598,000円		国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		6,321,100円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	13,224,750円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		13,224,750円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-6,903,650円	市民一人あたり税金充当額	-221円/人
	延床面積あたり税金充当額		-21,870円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-18,914円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	新諸友集会所		No.	98
大分類	10公営住宅			
小分類	公営住宅			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	東部
地区	久手

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	①廃止	処理完了
『該当する』を 選択した理由	地元自治会へ無償譲渡したため、用途廃止を行った。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	平成24年度（2012）高禅寺住宅下水道接続工事に併せ下水道接続、利用状況の整理、地元利用者との協議、方針決定		地元自治会で地縁団体の手続きをされ、無償譲渡を行った。条例改正により用途廃止を行い、移管した。
第2期	2024年度		
	2025年度		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	昭和 55 年
建物延面積	117.10 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	旧耐震(未診断)
Is値	-
摘要欄	

関連条例等	大田市営住宅集会所管理要綱
設置(目的等)	集会所は、市営住宅入居者（以下「入居者」という。）の共同の福祉、厚生及び文化教養等の場として諸行事を行うために使用させるものとする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	鳴滝公園		No.	154	担当部署名	建設部都市計画課		
大分類	11公園				ブロック	中央		
小分類	その他				地区	大田		
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称	公園施設長寿命化計画策定指針					
	有	計画名	大田市都市公園施設長寿命化計画		計画期間	2024年度～2033年度	改定・見直し 時期	2028年度
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	保育園が散歩で訪れるなど、利用者は比較的多く、今後も必要な公園である。トイレや東屋の更新時にはニーズ等を踏まえて必要規模の検討を行う予定だが、現状程度の規模を維持する必要があると考えている。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)				第3期 (2028～2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自	関連計画に基づく維持管理								
評価が達成される年度		2028年度				←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	フェンス設置 (H27年度) 下水道接続 (H30年度) 施設の維持管理 (毎年度)		今後も適切な維持管理を行っていき、建て替え等が必要な時期までに、必要な機能とバランスを図りつつ、ニーズを踏まえて、施設規模等の検討を進める。
第2期	2024年度	目標・取組を達成	公園施設長寿命化計画に基づく施設の維持管理。
	2025年度		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成4年
建物延面積	18.46 m ²
構造	鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市都市公園条例
設置(目的等)	都市公園法及び大田市都市公園条例に基づき設置。(S63大田西部土地区画整理事業に伴い設置)
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	90,343円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		90,343円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-90,343円	市民一人あたり税金充当額	-3円/人
	延床面積あたり税金充当額		-4,894円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-248円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	仁摩健康公園		No.	155
大分類	11公園			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称	公園施設長寿命化計画策定指針	
	有	計画名	大田市都市公園施設長寿命化計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	仁摩
地区	仁万

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	利用者が多く、必要な公園であり、今後も維持していく必要がある。施設の更新時にはニーズ等を踏まえて必要規模の検討を行う予定だが、現状程度の規模を維持する必要があると考えている。ただし、一部施設については、廃止等が可能か検討をしたいと考えている。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
独自	用途廃止・解体工事								
	関連計画に基づく維持管理								
評価が達成される年度		2028 年度				←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	シェルター更新（H27年度）、花時計修繕（H28年度） 遊具・屋根箱樋枯葉対策（H29年度） 電気設備改修（H30,R2年度）		当面使用可能であり、今後も適切な維持管理を行っていく。長寿命化計画見直し時に当面の方向性を決定する予定。また、建て替え等が必要な時期までには、必要な機能とバランスを図りつつ、ニーズを踏まえた上で、対策を実施する。
第2期	2024年度 遊具広場2四阿アスベスト調査及び撤去 園路改修 維持管理のための必要な軽微修繕	目標・取組を達成	公園施設長寿命化計画に基づく施設の整備及び維持管理
	2025年度 バーベキュー場四阿更新 維持管理のための必要な軽微修繕		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成4年
建物延面積	591.49 m ²
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	敷地内に急傾斜特別警戒区域及び急傾斜特別警戒区域あり。

関連条例等	大田市都市公園条例
設置(目的等)	主として市域内に居住する者の休息、観賞、散歩、運動等総合的な利用に供することを目的とする。
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	461,975円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他	1,265,000円		使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		1,726,975円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	1,317,800円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	19,803円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,337,603円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		389,372円	市民一人あたり税金充当額	12円/人
	延床面積あたり税金充当額		658円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	1,067円/日

(3)利用人数

貸館の有無	あり						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数	3,502	2,901	2,929	2,982	3,455	3,153	109%

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営行恒住宅		No.	251
大分類	10公営住宅			
小分類	市営住宅			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画	
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	中央
地区	久利

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	立地上、病院や学校など比較的近く、建設年度が市営住宅のなかで新しく需要が見込まれる。そのため今後も維持していく必要がある								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自	個別修繕								
評価が達成される年度		2026年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	第2期大田市住生活基本計画(R2) 第2期大田市営住宅長寿命化計画 (R3)		市営住宅長寿命化計画に基づいて住宅管理戸数の見直しを図った。
第2期	2024年度	個別修繕 目標・取組を達成	設備の老朽化により計画的な修繕が必要
	2025年度	個別修繕 目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成18年
建物延面積	1,051.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	洪水浸水地域 (0.5~3m)

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	住宅困窮者への住宅供給
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	4,771,200円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		4,771,200円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	1,508,954円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,508,954円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		3,262,246円	市民一人あたり税金充当額	105円/人
	延床面積あたり税金充当額		3,104円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	8,938円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営みそのハイツ		No.	252
大分類	10公営住宅			
小分類	市営住宅			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	温泉津町内の世帯向け住宅困窮者用住宅として需要が見込まれる。2014年度に社会資本整備総合交付金を活用し、下水道接続、給湯設備改修。今後も維持管理が必要。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自	個別修繕								
評価が達成される年度		2026年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	第2期大田市住生活基本計画(R2) 第2期大田市営住宅長寿命化計画 (R3)		市営住宅長寿命化計画に基づいて住宅管理戸数の見直しを図った。
第2期	2024年度	個別修繕 目標・取組を達成	設備の老朽化により計画的な修繕が必要
	2025年度	個別修繕 目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成13年
建物延面積	839.64 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	住宅困窮者への住宅供給
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	2,551,700円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		2,551,700円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	927,494円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		927,494円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		1,624,206円	市民一人あたり税金充当額	52円/人
	延床面積あたり税金充当額		1,934円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	4,450円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営みそのハイツ		No.	252	担当部署名	建設部都市計画課	
大分類	01市民文化系施設						
小分類	集会所						
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称					
	有	計画名			計画期間	改定・見直し 時期	
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由			

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当する	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	③地域移管	開始前
『該当する』を 選択した理由	集会所については定期的な利用がない。実際の管理は、地元自治会のため譲渡することで考えていきたい。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自									
評価が達成される年度		2028年度				←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	下水道接続（2014） 維持管理のための修繕		譲渡廃止の時期を検討
第2期	2024年度	目標未達成（取組なし）	利用状況の整理ができておらず、譲渡廃止に向けて課題が整理されていない。
	2025年度	目標未達成（取組なし）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成13年
建物延面積	82.93 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	住宅困窮者への住宅供給
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標	税金充当額			市民一人あたり税金充当額
	延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営高浜住宅		No.	254
大分類	10公営住宅			
小分類	市営住宅			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	仁摩
地区	仁万

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	仁摩町内の住宅困窮者向け住宅として需要が見込まれる。2010年度に社会資本整備総合交付金を活用し、下水道接続を実施。今後も維持管理していく必要あり。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自	個別修繕								
評価が達成される年度		2027 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	第2期大田市住生活基本計画(R2) 第2期大田市営住宅長寿命化計画 (R3)		市営住宅長寿命化計画に基づいて住宅管理戸数の見直しを図った。
第2期	2024年度 個別修繕の実施	目標・取組を達成	設備の老朽化により計画的な修繕が必要
	2025年度 個別修繕の実施	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成12年
建物延面積	1,431.00 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市営住宅条例
設置(目的等)	住宅困窮者への住宅供給
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

		内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
収入	①使用料金収入		5,320,500円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金				国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他				使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			5,320,500円	※グレーのセルは自動計算されます。	
		内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
支出	①指定管理料				指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用		959,090円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他				上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			959,090円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			4,361,410円	市民一人あたり税金充当額	140円/人
	延床面積あたり税金充当額			3,048円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	11,949円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営高浜特公賃住宅		No.	255
大分類	10公営住宅			
小分類	市営住宅			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	仁摩
地区	仁万

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	仁摩町内の中堅所得者の家族向け住宅として需要が見込まれる。2010年度に社会資本整備総合交付金を活用し、下水道接続を実施。今後も維持管理していく必要あり。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自	個別修繕								
評価が達成される年度		2027 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	第2期大田市住生活基本計画(R2) 第2期大田市営住宅長寿命化計画 (R3)		市営住宅長寿命化計画に基づいて住宅管理戸数の見直しを図った。
第2期	2024年度	個別修繕の実施 目標・取組を達成	設備の老朽化により計画的な修繕が必要
	2025年度	個別修繕の実施 目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成15年
建物延面積	541.47 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市特定公共賃貸住宅条例
設置(目的等)	住宅困窮者への住宅供給
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	2,827,500円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		2,827,500円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	973,478円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	49,762円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		1,023,240円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		1,804,260円	市民一人あたり税金充当額	58円/人
	延床面積あたり税金充当額		3,332円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	4,943円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営清石特公賃住宅		No.	256	担当部署名	建設部都市計画課		
大分類	10公営住宅							
小分類	市営住宅							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称						
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画		計画期間	2022年度～2031年度	改定・見直し 時期	2026年度
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	仁摩
地区	仁万

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	仁摩町内の中堅所得者の家族向け住宅として需要が見込まれる。2010年度に社会資本整備総合交付金を活用し、下水道接続を実施。今後も維持管理していく必要あり。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)				第3期 (2028～2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自	個別修繕								
評価が達成される年度		2027年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	第2期大田市住生活基本計画(R2) 第2期大田市営住宅長寿命化計画 (R3)		市営住宅長寿命化計画に基づいて住宅管理戸数の見直しを図った。
第2期	2024年度	個別修繕の実施。下水道接続 (R6)	目標・取組を達成 浄化槽の老朽化により下水道接続を行った。 設備の老朽化により計画的な修繕が必要
	2025年度	個別修繕の実施。浄化槽埋め戻し工事 (R7)	目標未達成 (取組中)
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成5年
建物延面積	865.86 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	洪水浸水地域 (0.5~3m)

関連条例等	大田市特定公共賃貸住宅条例
設置(目的等)	住宅困窮者への住宅供給
適正化計画上の実施方針	未掲載 (今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	4,407,400円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		4,407,400円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	4,548,379円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	160,209円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		4,708,588円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-301,188円	市民一人あたり税金充当額	-10円/人
	延床面積あたり税金充当額		-348円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-825円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	宮崎公園		No.	257
大分類	11公園			
小分類	その他			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称	公園施設長寿命化計画策定指針	
	有	計画名	大田市都市公園施設長寿命化計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	利用者が多く、必要な公園であり、今後も維持していく必要がある。トイレや東屋の更新時にはニーズ等を踏まえて必要規模の検討を行う予定だが、現状程度の規模を維持する必要があると考えている。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自	関連計画に基づく維持管理								
評価が達成される年度		2028 年度				←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	東屋（H29年度）、トイレ修繕（H29,R元年度,R2年度） 下水道接続（H28年度） 施設の維持管理（毎年度）		今後も適切な維持管理を行っていき、建て替え等が必要な時期までに、必要な機能とバランスを図りつつ、ニーズを踏まえて、施設規模等の検討を進める。
第2期	2024年度	目標・取組を達成	公園施設長寿命化計画に基づく施設の維持管理
	2025年度		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成13年
建物延面積	69.89 m ²
構造	コンクリートブロック造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市都市公園条例
設置(目的等)	都市公園法及び大田市都市公園条例に基づき設置。（S63大田西部土地区画整理事業に伴い設置）
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

		内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
収入	①使用料金収入				施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金				国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他				使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計				※グレーのセルは自動計算されます。	
		内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
支出	①指定管理料				指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用		41,800円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他		310,439円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			352,239円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額			-352,239円	市民一人あたり税金充当額	-11円/人
	延床面積あたり税金充当額			-5,040円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-965円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	駅北公園（東屋）		No.	258		
大分類	11公園					
小分類	その他					
個別施設計画（長寿命化計画）の策定有無	あり	個別施設計画（長寿命化計画）マニュアル・ガイドラインの名称	公園施設長寿命化計画策定指針			
	有	計画名	大田市都市公園施設長寿命化計画	計画期間	2024年度～2033年度	
	無	策定期限	今後の策定予定の有無	策定しない場合理由	改定・見直し時期	2028年度

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる施設評価チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模建替え	担当課方針	関係者調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を選択した理由	比較的新しい公園施設であり、当面は更新等の予定もない。将来的に更新等が必要な時期が近付いた際は、ニーズ等を踏まえて必要規模の検討を行う予定である。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)				第3期(2028～2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自	関連計画に基づく維持管理								
評価が達成される年度		2028年度				←塗りつぶし使用色			

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	施設の維持管理（毎年度）		当面使用可能であり、今後も適切な維持管理を行っていき、建て替え等が必要な時期までに、必要な機能とバランスを図りつつ、ニーズを踏まえて、施設規模等の検討を進める。
第2期	2024年度	目標・取組を達成	公園施設長寿命化計画に基づく施設の維持管理
	2025年度		
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成20年
建物延面積	16.20 m ²
構造	コンクリートブロック造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市都市公園条例
設置(目的等)	都市公園法及び大田市都市公園条例に基づき設置。（H12大田駅周辺西側土地地区画整理事業に伴い設置）
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計			※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他	214円		上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		214円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		-214円	市民一人あたり税金充当額	円/人
	延床面積あたり税金充当額		-13円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	-1円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	一般市営沖泊住宅		No.	259
大分類	10公営住宅			
小分類	市営住宅			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	あり	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画	計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	温泉津
地区	温泉津

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	③地域移管	開始前
『該当する』を 選択した理由	温泉津町内における単身・家族用の住宅として、2011年度に社会資本整備総合交付金を活用し、下水道接続を実施。地域で活用の見込も検討。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

動き		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自	修繕								
評価が達成される年度		2027 年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	第2期大田市住生活基本計画(R2) 第2期大田市営住宅長寿命化計画 (R3)		市営住宅長寿命化計画に基づいて住宅管理戸数の見直しを図った。
第2期	2024年度 個別修繕の実施	目標・取組を達成	設備の老朽化により計画的な修繕が必要
	2025年度 個別修繕の実施	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成2年
建物延面積	181.36 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	洪水浸水地域（家屋倒壊等氾濫想定区域） 土石流（警戒区域）

関連条例等	大田市一般市営住宅管理条例
設置(目的等)	住宅困窮者への住宅供給
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	552,000円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		552,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	108,900円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		108,900円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		443,100円	市民一人あたり税金充当額	14円/人
	延床面積あたり税金充当額		2,443円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	1,214円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度(A)	過去5年間の平均利用人数(B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	市営湯里特公賃住宅		No.	260	担当部署名	建設部都市計画課		
大分類	10公営住宅							
小分類	市営住宅							
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称							
	有	計画名	大田市営住宅長寿命化計画		計画期間	2022年度～2031年度	改定・見直し 時期	2026年度
	無	策定期限		今後の 策定予定の有無		策定しない場合 理由		

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	温泉津
地区	湯里

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当する	⑦必要規模建替え	開始前
『該当する』を 選択した理由	温泉津内の中堅所得者の家族向け住宅として需要が見込まれる。今後も維持管理していく必要あり。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)				第3期 (2028～2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自	修繕								
評価が達成される年度		2027 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	第2期大田市住生活基本計画(R2) 第2期大田市営住宅長寿命化計画 (R3)		市営住宅長寿命化計画に基づいて住宅管理戸数の見直しを図った。
第2期	2024年度 個別修繕の実施	目標・取組を達成	設備の老朽化により計画的な修繕が必要
	2025年度 個別修繕の実施	目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成7年
建物延面積	456.69 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	急傾斜地特別警戒区域 土石流（警戒区域）

関連条例等	大田市特定公共賃貸住宅条例
設置(目的等)	住宅困窮者への住宅供給
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	2,160,000円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		2,160,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用	228,360円		施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計		228,360円	※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		1,931,640円	市民一人あたり税金充当額	62円/人
	延床面積あたり税金充当額		4,230円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	5,292円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	柳井都市下水路排水樋門流末ゲート（機械室）		No.	261
大分類	14その他（普通財産を含む）			
小分類	その他			
個別施設計画（長寿命化計画）の策定有無	なし	個別施設計画（長寿命化計画）マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の策定予定の有無	なし
			策定しない場合理由	耐用年数・点検により修繕等を検討するため

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	中央
地区	大田

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる施設評価チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模建替え	担当課方針	関係者調整状況
	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	◆インフラ施設扱い	
『該当する』を選択した理由									

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022～2027年度)				第3期(2028～2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
用途廃止・解体工事									
独自									
評価が達成される年度		年度			←塗りつぶし使用色				

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度		取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
	これまでの取組状況			公共下水道事業が供用開始しており、施設の維持管理を公営企業部へ移管する必要がある。
第2期	2024年度			
	2025年度			
	2026年度			

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成12年
建物延面積	26.41 m ²
構造	鉄骨造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市公共下水道条例
設置(目的等)	下水道法及び河川法に基づき設置
適正化計画上の実施方針	未掲載(今後検討し方針決定へ)

【施設写真】



(2)収入・支出

		内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
収入		①使用料金収入			施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。
		②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。
		③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。
		合計			※グレーのセルは自動計算されます。
		内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説
支出		①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。
		②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。
		③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。
		支出計			※グレーのセルは自動計算されます。
指標		税金充当額			市民一人あたり税金充当額
		延床面積あたり税金充当額			1日あたり税金充当額(休館日含)

(3)利用人数

貸館の有無							
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							

1. 施設名称・施設の位置づけ等

※施設一覧シートを見て記載してください。

施設名称	一般市営宅野住宅		No.	360
大分類	10公営住宅			
小分類	市営住宅			
個別施設計画 (長寿命化計画) の策定有無	なし	個別施設計画(長寿命化計画) マニュアル・ガイドラインの名称		
	有	計画名		計画期間
	無	策定期限	今後の 策定予定の有無	策定しない場合 理由

担当部署名	建設部都市計画課
ブロック	仁摩
地区	宅野

2. 施設評価

↓プルダウンから選択してください

考えられる 施設評価 チェック	①廃止	②民間移管	③地域移管	④統合	⑤複合化	⑥縮小建替え	⑦必要規模 建替え	担当課方針	関係者 調整状況
	該当しない	該当しない	該当する	該当しない	該当しない	該当しない	該当しない	③地域移管	開始前
『該当する』を 選択した理由	令和4年9月30日 教育部総務課から財産引継。仁摩町内における単身・家族用の住宅として需要が見込まれる。地域で活用の見込も検討。								

3. 評価の実現に向けたロードマップ

※評価の実現に向けて、動き出しから実現までの、取組内容と実施スケジュールを具体的に示してください。
※スケジュールは青セルで表してください。

		第2期(2022~2027年度)				第3期 (2028~2033年度)			
動き		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度以降
共通項目	庁内関係部課協議								
	施設管理者との協議								
	施設利用者との協議								
	第三者委員会による検討								
	市民・利用者への説明								
	方針決定								
	方針決定に基づく設計・整備等								
	関連計画の見直し								
	利用開始								
	用途廃止・解体工事								
独自	個別修繕								
評価が達成される年度		2027 年度							

←塗りつぶし使用色

4.各年度の取組内容・進捗状況等

※下記に記載した取組・目標は、次年度に進捗・達成状況を検証・評価します。

年度	取組・目標	進捗状況	成果・積み残し課題・今後の対応
これまでの取組状況	教職員住宅として活用されていたが、利用者の減少により市営住宅へ引継		2023年度に入居者募集し、入居決定。空き室なし。
第2期	2024年度	個別修繕 目標・取組を達成	設備の老朽化により計画的な修繕が必要
	2025年度	個別修繕 目標未達成（取組中）	
	2026年度		

5. 補足情報

(1)施設基礎情報

建築年	平成10年
建物延面積	139.94 m ²
構造	木造
耐震の有無	新耐震(新基準)
Is値	—
摘要欄	

関連条例等	大田市一般市営住宅管理条例
設置(目的等)	住宅困窮者への住宅供給
適正化計画上の実施方針	未掲載（今後検討し方針決定へ）

【施設写真】



(2)収入・支出

収入	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①使用料金収入	720,000円		施設の使用の際に徴収する使用料収入を計上する。ただし、指定管理者が収入している場合等、直接大田市の歳入にならない場合は計上しない。	
	②国、県等補助金			国・県等からの補助金や助成金等を計上する。	
	③その他			使用料以外の利用者負担金や施設の運営にかかる雑収入、地方債等を計上する。	
	合計		720,000円	※グレーのセルは自動計算されます。	
支出	内訳	金額(R6決算)単位:円	備考	解説	
	①指定管理料			指定管理制度対象者のみ計上する。	
	②施設の改修及び修繕費用			施設の改修及び修繕に係るコストをすべて計上する。	
	③その他			上記に該当しない支出をすべて計上する。	
	支出計			※グレーのセルは自動計算されます。	
指標	税金充当額		720,000円	市民一人あたり税金充当額	23円/人
	延床面積あたり税金充当額		5,145円/m ²	1日あたり税金充当額(休館日含)	1,973円/日

(3)利用人数

貸館の有無	なし						
項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度 (A)	過去5年間の 平均利用人数 (B)	前年度と平均の比較(%) =(A)/(B)
年間利用人数							